

CHIBA



～成田山新勝寺の白梅～写真提供:百瀬登展(行政 OB)

【特 集】第41回 総合技術コンクール

【青年委員会の頁】廃校を前に環小学校で建築授業を開催

【スキルアップ】基準法であそぼ！斜面に建つ建物の地盤面はどこ？！～

【リポート・寄稿】中小企業診断士カッシーに聞け！#22 ～スタッフを辞めさせないための3つの着眼点～

【原っぱ】～弁護士アジローがゆく～#30「僕と契約して追加工事代金を支払ってよ！(●ω●)の巻」

古民家カフェ“ハナレヤプロジェクト”

【表紙の説明】【編集後記】【会員の動静】

廃校を前に環(たまき)小学校で建築授業を開催

富永 麻里(君津)



2025 年 11 月 7 日、千葉県富津市立環小学校において、今年度での閉校を前に特別な出前授業が行われた。千葉県建築士会青年委員会 5 名と君津支部メンバー2名の計 7 名の建築士が講師となり、全校児童 41 名(当日は 39 名が参加)を対象に、母校をデフォルメしたペーパークラフト建築の製作指導を実施した。

環小学校は長年地域に親しまれてきたが、少子化の影響により本年度限りで閉校となる。

1 年生から 6 年生の 41 名の子どもたちにとって、この授業は母校との思い出を形として残す貴重な機会となった。

授業は「環小学校の魅力を伝える」をテーマに、子どもたちが自分たちの学び舎を立体的に理解し、建築という視点から母校の良さを再発見できるように。また、建築士という仕事を将来の選択肢として考えられるよう、スライドなどで建築士という職業の仕事内容や魅力を伝えた。

ペーパークラフトの型紙製作には、2025 年 9 月に君津市の清和地区にオープンしたシェア工房「TSUKURIE」のレーザーカッターを活用。CAD 図面から精密に設計したデータをもとに、正確なパーツを切り出した。

一方で、組み立て作業は「折る」と「糊付け」という基本動作のみで完成できるように設計。1 年生でも取り組みやすい工程ながら、それぞれが自由にカスタマイズできる余地を残し、6 年生にとっても創造性を引き出し、充実して楽しめる授業を行う事が出来た。デジタル技術とアナログな手作業の組み合わせが、年齢の差による壁を最小限にし、当初の課題であった「幅広い学年の児童が同じよう取り組める内容」とする事が出来た。

また、建築士の仕事を将来の選択肢として子供たちにイメージしてもらえるよう、模型製作だけでなく、建築士の日常業務についても紹介。



設計から完成まで、多くの専門家や職人と協力しながら一つの建物を作り上げていく過程を知った子どもたちからは、「将来の選択肢が広がった」「建築士が建物を作るまでにたくさんの人と協力していくことを知って面白かった!」といった前向きな感想を聞く事が出来た。

今回の環小学校での授業は、今年度で閉校という節目に立ち会い、子どもたちの記憶に残る特別な建築授業の体験が出来て、講師陣にとっても意義深いものとなった。

小さな手で組み上げられた校舎の模型は、子どもたちにとって母校の思い出とともに、建築という仕事への興味の扉を開く鍵となるかもしれないと感じた。

環小学校の校舎は姿を消しても、この日の体験は子どもたちの心に、そして手元の小さな建築として残れば嬉しい。

とくべつじゅぎょう 特別授業を通して分かったことや感じた事を書こう!

名前(佐藤 咲希)

① 建築士のお仕事について話を聞いてわかったこと・感じたこと

わかったことは、家の相談をしたり、おけいせいの図を作ったりして、たいへんだなと感じました。

② ペーパークラフト体験でわかったこと・感じたこと

ペーパークラフト体験では、少しおもしろいところや、かんたんなところもあって楽しかった。おもしろいへんだったけど、時間をかけて作ったから、良い出来上がりでした!!

名前(島野 孝士)

① 建築士のお仕事について話を聞いてわかったこと・感じたこと

けんちく士のお仕事は図面を作るのが手先が器用じゃないとダメで、木製機械があって今はパソコンで思いました。

② ペーパークラフト体験でわかったこと・感じたこと

のりもテープだけで作れるなんでもかんがえたと思いました。



中小企業診断士カッシーに聞け！ #22

～スタッフを辞めさせないための3つの着眼点～

柏村 斉（市川・浦安）

建築業界では、慢性的な人材不足が長年にわたって続いています。建築士の高齢化、若手人材の減少、採用市場の競争激化など、外部環境の厳しさを感じておられる事務所も多いのではないのでしょうか。

加えて、採用にかかるコストや時間は年々増加しており、「採用そのものが難しい」という声も少なくありません。その一方で、「ようやく採用できたと思ったら、数年で辞めてしまった」「仕事はあるのに、人が定着せず常に人手不足」といった悩みも、多くの建築士事務所共通して聞かれます。

もちろん、給与水準や労働時間といった条件面は重要な要素です。しかし、実際にスタッフが退職を決断する場面を丁寧に見ていくと、離職の原因は必ずしも条件面だけではないことが分かります。

むしろ、日々の業務の中で生じる「小さな違和感」や「伝えられていない不安」が積み重なり、結果として退職につながっているケースが非常に多いのです。

今回は、スタッフを辞めさせないために特に意識していただきたい3つの着眼点を紹介します。

着眼点①：「何を期待されているのか」が本人に伝わっているか

スタッフが仕事に対して強い不安やストレスを感じる要因の一つが、

「自分が何を期待されているのか分からない」状態です。

例えば、日常業務の中で次のような疑問を抱えていないのでしょうか。

- ・どこまで自分で判断してよいのか
- ・どの段階で上司に確認すべきなのか
- ・今の立場で、どのレベルまでできていれば評価されるのか

こうした点が曖昧なまま仕事を任されると、スタッフは常に不安を抱えながら業務にあたることになります。

その結果として、

- ・確認や質問が増え、仕事が思うように進まない
 - ・判断を避け、指示待ちの姿勢になる
 - ・失敗を恐れて、新しいことに挑戦しなくなる
- といった状態に陥りやすくなります。

経営者や所長としては、「これくらいはわかるだろう」「経験を積みば自然に身につく」と考えていることも多いでしょう。しかし、スタッフ側から見ると、その“暗黙の期待”はなかなか見えません。

大切なのは、完璧な業務マニュアルや評価制度を整備することではありません。

「今のあなたには、ここまでを期待している」

「この範囲は自分で判断していい」

といったことを、日常の会話の中で言葉にして伝えているかどうかです。

役割や期待が明確になるだけで、スタッフの心理的な安心感は大きく高まり、主体的に仕事に取り組みやすくなります。

着眼点②：成長している実感を持てているか

どれだけ忙しくても、人は「自分が成長している」と感じられれば踏ん張ることができます。逆に、

「忙しいだけで、何も身につけていない」

「自分は評価されていない」

と感じた瞬間、離職のリスクは一気に高まります。

建築士事務所の現場では、

- ・仕事は任せているが、振り返りの時間が取れていない
 - ・指摘や注意はするが、良くなった点はあまり伝えていない
 - ・成果は当たり前、ミスだけが目立つ
- といった状況になりがちです。

特に多忙な時期ほど、コミュニケーションは「指示」「修正」「是正」に偏りやすくなります。その結果、スタッフは「できていない点ばかりを見られている」と感じてしまいます。ここで意識していただ

きたいのが、成長を言葉にして伝えることです。

「以前より図面の精度が安定してきた」

「打合せでの説明が分かりやすくなった」

「この業務は一人で任せられるようになった」

こうした一言があるだけで、スタッフは自分の成長を実感し、「もう少し頑張ってみよう」と前向きな気持ちを持つことができます。

特別な評価制度や面談を用意しなくても、日常の声かけ一つで実践できる点も重要です。

着眼点③：将来像を“ぼんやりでも”描けているか

若手スタッフほど、「この先どうなるのか」という将来への不安を強く抱えています。

- ・ この事務所で、自分はどう成長できるのか
- ・ 5年後、10年後、どんな仕事をしているのか
- ・ 設計者として、どんな役割を担えるのか

こうした点が全く見えない状態では、「他の事務所も見てみよう」と考えるのは自然なことです。

ここで誤解されがちなのが、

「明確なキャリアパスを示さなければならない」という考え方です。

実際には、そこまで明確である必要はありません。

建築の仕事は多様であり、すべてを制度として整理することは現実的ではないでしょう。

重要なのは、所長や上司が将来について語っているかどうかです。

「将来は、こういう建築を強みにしていきたい」

「いずれはこの分野を中心に任せたいと考えている」

「長く一緒に仕事をしていけたらと思っている」

こうした言葉があるだけで、スタッフは「この事務所に居場所がある」と感じることができます。

おわりに

スタッフを辞めさせないために必要なのは、特別な制度や大きな投資ではありません。

- ・ 期待を伝える
- ・ 成長を認める
- ・ 将来を語る

この3つを意識するだけで、職場の雰囲気は確実に変わります。

人材確保がますます重要になるこれからの時代だからこそ、「人が辞めない組織づくり」に目を向けてみてはいかがでしょうか。

建築士事務所のための「人が辞めない組織づくり」：3つの重要な着眼点

【背景と課題】

慢性的な人材不足と早期離職



高齢事務所な
人材不足と早期



若い人材の低や
低下ない



採用競争が激烈い
相手コクが高い



募集費用が増加
増えかえる

離職の真因：条件面だけでなく、「小さな違和感」や「不安」の蓄積

着眼点①：「何を期待されているのか」が本人に伝わっているか



【現状の不安】
判断基準、評価レベルが曖昧。
指示待ち、挑戦回避に。

【解決策】
日常会話で「期待する範囲」
「裁量」を言葉にする。



【効果】
心理的安心感、主体的な取り
組み。

着眼点②：成長している実感を 持っているか



【現状の不満】
忙しいだけで評価されない。
指示・指摘に偏りがち。

【解決策】
「良くなった点」「具体的な成長」
を言葉で伝える(日常の声かけ)。



【効果】
成長実感、前向きな意欲の向
上。

着眼点③：将来像を“ぼんやりでも” 描けているか



【現状の不安】
5年後、10年後の姿が見えな
い。ここにいる意味は？

【解決策】
明確な制度でなくとも、所長・
上司が将来の展望や期待を語る。



【効果】
「ここに居場所がある」という
安心感。

【まとめ】特別な制度より、日々のコミュニケーション



期待を伝える



成長を認める



将来を語る

この3つを意識するだけで職場の雰囲気は変わる。
「人が辞めない組織づくり」が重要。



第41回総合技術コンクール

令和7年度 千葉県高等学校工業教育研究会
第41回 総合技術コンクールが県立千葉工業高等学校で令和7年11月29日(日)開催されました。



コンクール授賞式

参加校は千葉県立の京葉工業高等学校、千葉工業高等学校、市川工業高等学校、清水高等学校、下総高等学校、東総工業高等学校、茂原樟陽高等学校、館山総合高等学校、天羽高等学校、君津青葉高等学校、姉崎高等学校の11校13課程。

毎年、千葉工業高等学校、市原工業高等学校、京葉工業高等学校、茂原樟陽高等学校の四校持ち回りで開始されています。

審査部門は溶接部門、機械設計製図部門、電気工事部門、電子回路工作部門、化学分析部門、測量部門、建築設計製図部門、計算技術部門、ロボットコンテスト部門、ライントレースカー部門の10部門。



会場

社会全般工業系の仕事は「3K 労働」と呼ばれており、昔から主に男性が中心の部門であったが

萬世 勝（広報委員会）

最近は少しずつ女性も増えてきた。技術的にも男子より優秀な女子も出てきていてコンクールで表彰されている。社会の仕事改革が進み「3K」とも「6K」とも言われるその反面「手に職を」とやりがいもあり、社会への貢献度も高い仕事である部門であり、国も職場の処遇を見直すなど「働きやすく」の取り組みを行っており、もっと女子の参加が進むといいと思う。

まずは簡単に各部門の競技の説明をします。
我々と関係の深い「建築設計製図部門」では受賞者をインタビューしたので報告します。

「溶接部門」

課題：ガス溶接・アーク溶接(下向き・突合せ溶接)

両方とも2枚の鉄板を突合せ溶接を行う。

審査：外観検査を行う。(表面波形やひずみを評価)

競技時間：15分

*上位2名は関東甲信越高校生溶接コンクールに出場選手となる。

「機械設計製図部門」

課題：機械部品(立体図)を平面図、立面図、側面図の三図面を作図。

審査：図面の正確さや美しさ(指定した図が三角法で描かれているかなど。

競技時間：90分



競技風景

「電気工事部門」

課題：910×910の合板に配管、スイッチボックス、

アウトレットボックスを課題図どおりに取り付けする。

審査：減点法

競技時間：60 分(延長 10 分)

＊上位 2 名は県代表に推薦される。



競技風景

「電子回路工作部門」

課題：PIC12F629 を用いた回路設計及び回路の作成

審査：「安全に正確で短時間のうちに、いかにきれいに工作できるか」3 級技能検定基準に準拠して行う。45 分過ぎ 1 分毎に 1 点減点

競技時間：45 分(延長 15 分)

「化学分析部門」

課題：JIS-K0101 工業用水試験法に準じたキレート滴定法により、試料水中の Ca^{2+} および Mg^{2+} の定量を行い、各硬度を求めて、指定された測定結果報告書を提出する。

競技時間：100 分



競技風景

「測量部門」

課題：「閉合トラバース測量とその計算」

＊トラバースの形状は 5 角形 総測線長は約 100 m 前後

審査：外業制限時間(20 分を超えたら減点あり)

内業制限時間(22 分を超えたら減点あり)

競技時間：外業制限時間 29 分

内業制限時間 35 分

「建築設計製図部門」

課題：事前に提示された諸条件(敷地、家族構成等)

をもとに、木造平家住宅を設計し、制限時間内に尺度 1/100 の配置図兼平面図を作成する。また、設計した住宅のイメージスケッチやコンセプト等をまとめて、プレゼンテーションシートを作成する。(協議説明書)

審査：柱の位置などの構造的な理解力と正確な表記法に基づいた作図の表現力、プランニングの発想力や、イメージを表現するプレゼンテーション能力などが求められ総合的に評価される。

競技時間：2 時間



競技風景

＊イメージスケッチも描く必要もあり、パース能力も重要となる。競技参加生徒の中には設計系を専攻している生徒ばかりではなくインテリア系も含まれており、普段あまり設計の授業はないがパースなどは得意な生徒もいた。今回 13 名のところ

12名の参加となった。当部門審査委員長と受賞者のインタビューを行いました。



審査委員長関谷氏

○今回の大会の意義、生徒たちの技術力や意識に変化を感じますか。

関谷：そんなに大きく変わってはいないだろうと思いますが将来が楽しみだという風に私は感じていました。

○審査の手法ですが個々の作品を審査員皆さんで評価するのですか。

関谷：今回課題も私の方で設定させていただき、私が評価しました。評価は3つの評価軸で見ました。1つ目：敷地を読み取って建築空間を作っているか。2つ目：三次元の空間をどう魅力的に作っているか。平面プランも大事であるが高さ方向、床レベル差とか天井の構成だとか今回桜が見える敷地と設定したので一連の空間構成をどう工夫がされているか。3つ目：コンセプト 設計者としてどう相手に伝える図面となっているか。を私なりに評価させていただいた。

○このコンクールを通して千葉県建築業界にどのような活性化を期待していますか。

関谷：こう若い人達がいい形で切磋琢磨出来る場所があるということは地域の将来のエンジニアを作る上では大変重要な大会であると感じました。

また、各学校のカラーも出ているなど感じました。生徒の皆さんも他の学校ではこういう風にやっているんだと知る機会にもなったでしょうし、アドバイスもさせていただきました。

○我々が発行している建築士 CHIBA があるのですがそれを読む建築士にメッセージがありましたら。

関谷：建築という我々の仕事は地域を作り、社会

のインフラを作っているという仕事なのでそういう意味ではこういう大会も含めていかに暮らしを豊かにするかということを真摯に考えて形にしていくことを皆さんと共にやれたらと思います。

吉村：はい。本日はお疲れのところありがとうございました。

建築設計製図部門受賞者

知事賞 辻 隼斗 (市川工業高等学校)

優秀賞 寺門 優弥 (京葉工業高等学校)

優良賞 秋谷 空雅 (京葉工業高等学校)

小高 龍之介 (京葉工業高等学校)

敢闘賞 横山 はな (市川工業高等学校)

湯本 茜 (市川工業高等学校)



受賞者左から 小高龍之介、秋谷空雅、寺門優弥



受賞者左から 湯本 茜、横山はな、辻 隼斗

A：建築士会広報の吉村です。

本日はお疲れ様でした。そして受賞おめでとうございます。インタビューに入りたいと思います。

A：今回の課題で一番難しかったことや工夫したことや表現したことは何か。

小高：テーマに合わせた間取りを考えるのが難し

かった。

秋谷：つながりを意識して考えた。そうすると奥行きのない計画になってしまう。そこ江尾間上げるのが難しかった。

寺門：部屋の配置と組み合わせを考えるのが難しかった。

湯本：ターゲット（家族）に合わせた設計、どうしても住みやすいかを考えながら設計することが難しかった。

横山：コンセプトに沿って考えることが難しかった。

辻：角度の付いた計画なので敷地とのバランスや図面として綺麗な形にする為、事前に練習してきた。

A：今回の課題は事前に出されていたんですね。事前に練習重ねてきたと思いますが難しかったですか。

湯本：そもそも平面図を描くことが無かったので毎日4時間練習してきたので発揮できたと思う。

A：平面図を描いたことが無かったとは、専攻している科目が違うからですか。

湯本：インテリア科です。

A：なるほど。



受賞者インタビュー

A：次に何故建築を選んだのですか。

小高：中二の時に棚を造って賞を取ったのがきっかけでもっと規模の大きなものを学びたくて建築を選びました。

秋谷：始めは機械科に入ろうとしたのですが学校説明会で建築科が面白そうと思いそれで入りました。

寺門：小学六年生の頃、建築雑誌の写真を見て、デザインの良い建物があり、自分も設計して写真を載せたいと思ったので建築の道に進みました。

湯本：建築というよりも空間のデザインもそうなのですがデッサンや家具に興味があったのでインテリア科に進みました。

横山：高校を探している時、普通高は面白そうな教科がなく、学校説明会（工業系高校）でインテリア科があり興味を持ったので入りました。

辻：小学生の頃、忍者屋敷でいろいろな仕掛けのある家を見て楽しそうだなと思ったのが最初でその後、家を見たりしたときに住む人に自分から提案が出来たらカッコいいなみたいな。また、親の関係で建築士の方と交流もあり、設計やデザインを続けたいと思った。



製図用具一式（全員同じ）

A：将来はどんな設計者や職人さんや技術者になりたいですか。

小高：将来は大工になりたい。

A：いいですねえ。

秋谷：デザインを大学で学び人とは違う建築を目指したい。

寺門：環境問題を建築で解決できる建物のデザインや構造を考えられる建築士になりたい。

湯本：まだ先を決めるのは難しいのですがデザイ

ン系は色々な方面で活用出来るのでおいおい考えたい。

横山：今はインテリア科ですが設計にも興味が出てきたので建築士を目指したい。

辻：設計だけではなくデザインだったり、他の事も学べる大学に行きたい。身近に建築士（H氏）の方もいるのでその方を手本に建築士を目指したい。

A：最後に今回、自己採点は何点でしょうか。

小高：80点 秋谷：90点 寺門：80点

湯本：40点 横山：87点 辻：100点

A：建築は自分で責任を持つものなので自信をもっていただければと思います。将来就職をしてご縁があれば是非建築士会に入会してください。本日はありがとうございました。

「計算技術部門」

課題：電卓による計算技術。

全国工業高等学校長協会 計算技術検定

3級、4級の問題に準じた程度

審査・競技時間：

4級四則計算 5分 4級集計計算 5分

4級実務計算 5分 3級四則計算 5分

3級関数計算 5分 3級実務計算 5分



協議風景

「ロボットコンテスト部門」

課題：2.7m×1.8m 枠内の風船をロボットを用いて

割る。

審査：17個の風船を何個割れるかを競う。

(2回のうち良い方を記録とする)

競技時間：90秒間×2回



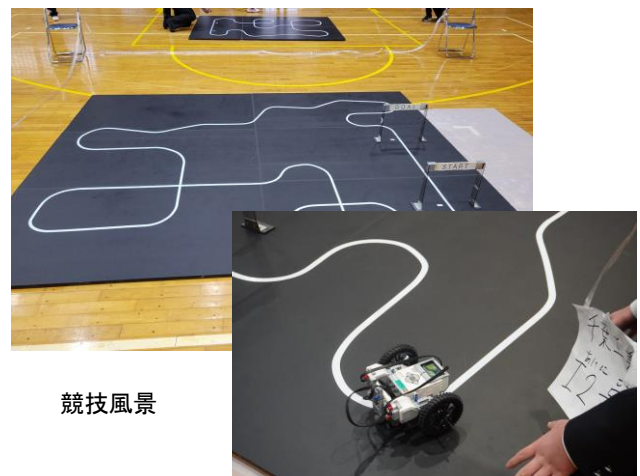
競技風景

「ライントレースカー部門」

課題：黒い床に引かれた白いラインの周回コースをできるだけ早く走る（トレースする）ことを競う。

審査：3回以上の走行を行いタイムの良い方を記録とする。ゴールエリア内に2秒間停止する。

競技時間：———



競技風景

今回、主に建築にスポットを当てたが他の部門も若者が技術者を目指している。一生懸命夢を追いかけている若者を見ると羨ましく、凄く刺激を貰った。我々も負けていけない。

次回は他の部門にも取材をしてみたいと思う。



基準法であそぼ！

斜面に建つ建物の地盤面はどこ？！

田中 知代（夷隅）

みなさん、こんにちは！夷隅支部の田中です。
千葉発祥の地といわれる千葉市の亥鼻公園（いのはなこうえん）は、千葉城（亥鼻城）跡のある歴史的な場所です。この公園内にある「千葉県立中央図書館」をご存知でしょうか。

山の斜面を活かした多様な空間が魅力のこの建物は、高低差の大きい敷地に、斜面に沿って緩やかに配置されているのが特徴です。

今回は「千葉県立中央図書館」の建築とともに、地盤面、平均地盤面についてみていきましょう。



千葉県立図書館

■千葉県立中央図書館とは？

千葉県立中央図書館は、昭和43年（1968年）に竣工。プレストレスト・プレキャストコンクリート造（一部鉄筋コンクリート造）、地上5階地下2階建の建物です。床下や天井から飛び出したコンクリートの梁が、伝統的木造架構を思い起こさせるデザインを持っています。

設計は、前川國男氏の下で学んだメタボリズムグループのひとり「大高正人」氏。亥鼻公園内の文化会館、聖賢堂とともに、公園一帯を文化センターとする「千葉文化の森」構想の全体計画を任されました。

プレストレストコンクリートを用いた「プレグリッド・システム」という、当時、革新的かつ独創的な構造工法を起用した建物でしたが、特殊な構

造形式と高額な耐震補強費用から耐震改修を断念せざるを得ない結果となってしまいました。

そして、2029年度に新県立図書館・文書館複合施設が県立青葉の森公園内へ開館されるのを機に、図書館としての機能に幕を閉じることが決まっています。※2025年12月時点予定

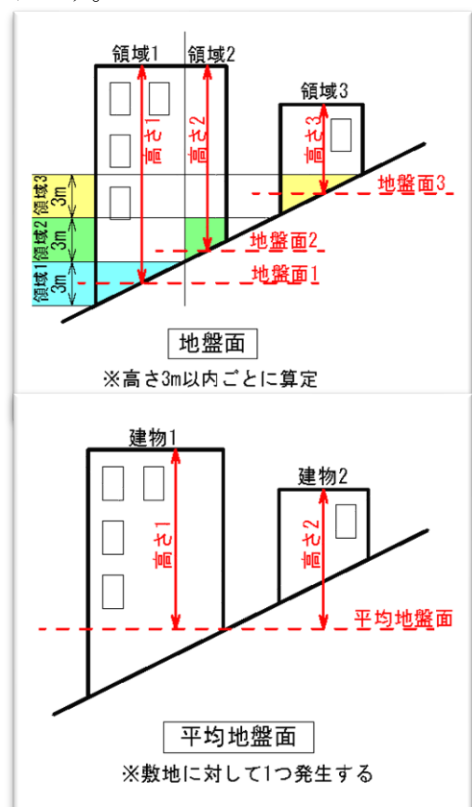
今後の保存活用については、検討が続けられています。

■地盤面と平均地盤面の違い

「千葉県立中央図書館」のように、斜面に建つ建物の場合、階数や高さ算定の基点となる面を設定する必要があります。この面を「地盤面」といい、令第2条第2項に規定されています。

「地盤面」は建築物外周の地盤レベル高さの平均をいい、地盤の高低差が3メートルを超える場合は、3メートル以内ごとに地盤面を算定する必要があります。

一方、「平均地盤面」は法第56条の2の日影規制にのみ出てくる用語で、敷地全体の地盤面の平均高さとなります。



前図のように、同一敷地内に2棟以上の建築物がある場合、「地盤面」は建築物ごと、「平均地盤面」は敷地ごとに算定します。

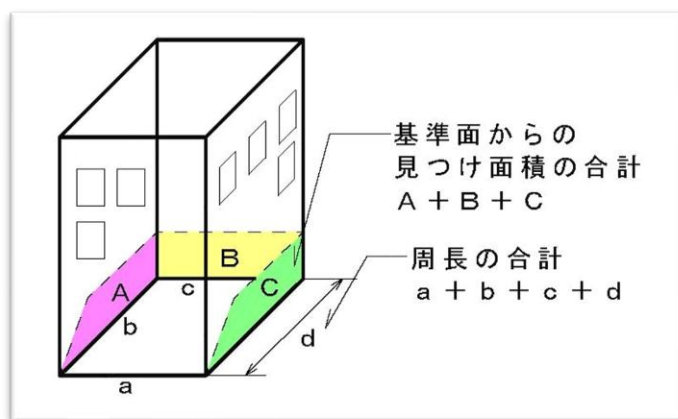
建築基準法上では、このように区別されますが、実務的には「地盤面」も「平均地盤面」も両方とも、「平均地盤面」と呼ばれることがほとんどです。今回の記事でも、「平均地盤面」としていきますね。

■平均地盤面の算定方法は？

平均地盤面は、以下の式で求められます。

平均地盤面＝

基準面からの見つけ面積の合計÷周長の合計



平均地盤面の求め方

上記の場合の式は、以下となります。

平均地盤面＝面積 $A+B+C$ ÷周長 $a+b+c+d$

■平均地盤面算定のポイント

①算定の基準線は？

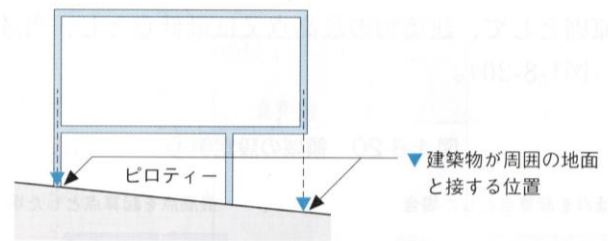
法文上「建築物が周囲の地盤と接する位置」とありますが、計算の便宜上、外壁の中心線を「地盤と接する位置」とみなして計算を行うこととします。

②ピロティや屋外階段等がある場合は？

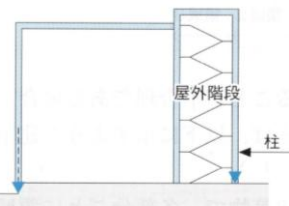
ピロティや屋外階段等、地盤と接していない部分がある場合は、張り出した部分の柱及び外壁等の中心線を結んだ位置が、地盤と接しているものとして算定を行います。

なお、局部的な底や、外構となるウッドデッキなどは算定に含める必要はありません。

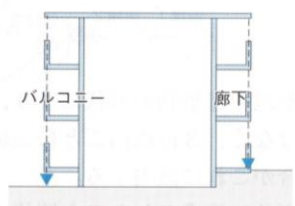
上階が下階より張り出している部分がある場合



屋外階段がある場合



バルコニー、廊下がある場合

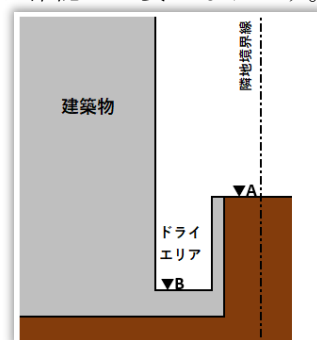


基準総則集団規定の適用事例 2017 年度版より引用

③ドライエリア部分の算定は申請先に確認が必要

ドライエリアがある場合、その奥行や高さ、隣地境界線からの離れ等により、下図の地面の上(A)でみるか、ドライエリア下(B)でみるかが決まります。どちらで見るかによって、算定結果が大きく異なります。

この取扱いについては、法文に定義されていないので、申請先に確認が必要となります。

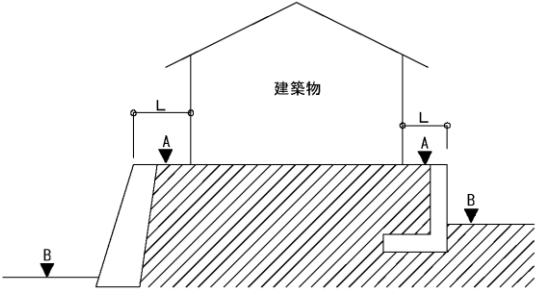


確認申請の学校より引用

④盛土がある場合は？

計画敷地において盛土を行う場合、基本的には盛土後の実際に地面と接する位置で算定します。

また、船橋市のように用途や隣地境界線等からの離れにより、独自の規定を設けている場合がありますので、事前に調査することが必要です。

地盤面の算定位置について
〔関連条項〕 令第2条第2項
<p>【地盤面の算定位置について】 敷地内で局所的な盛土をする場合の地盤面の算定位置は、下記のとおり取扱うものとする。ただし、既存宅地の地盤の高さに変更が伴わないもの及び宅地開発※した宅地を除く。</p> <p>① 一戸建の住宅及び法第6条第1項第4号建築物の場合 L寸法が50cm以上の場合の地盤面：A L寸法が50cm未満の場合の地盤面：B</p> <p>② ①以外の場合 L寸法が200cm以上の場合の地盤面：A L寸法が200cm未満の場合の地盤面：B</p> <p>※宅地開発：都市計画法第29条および宅地造成等規制法第8条による許可を受けて行う盛土</p>
 <p>L：擁壁等と当該建築物の外壁間の水平距離（有効幅員）</p>

船橋市建築基準法等における取扱基準集より引用
 <参考：船橋市建築基準法等における取扱基準集>
https://www.city.funabashi.lg.jp/jigyuu/kenchiku_kaihatsu/003/01/p002617_d/fil/toriatsukai.pdf



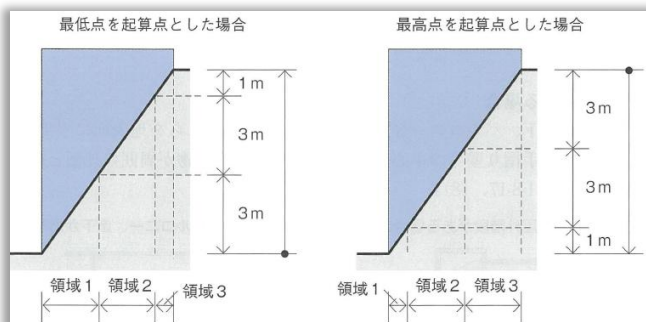
木造架構を模したデザイン

⑤高低差が3mを超える場合の基点は？

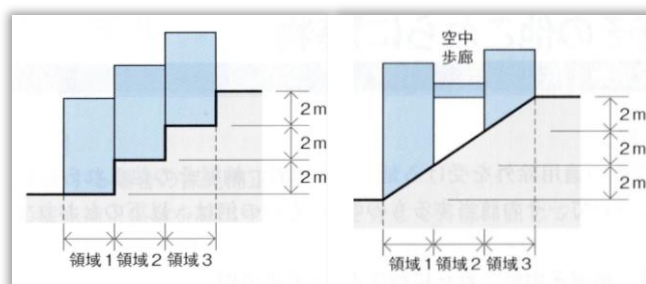
地面と接する位置の高低差が3mを超える敷地において、算定する領域の設定方法は、地面の高い位置からでも、低い位置からでも構いません。（領域の設定例①）

一方、敷地や建築物の形状により、3mごとの設定が合理的でない場合は、3m以内ごとに領域を設置

します。（領域の設定例②③）



領域の設定例①



領域の設定例②

領域の設定例③

⑥日影規制の平均地盤面を算定する場合は？

日影規制の算定をする場合の基準となる「平均地盤面」は、高低差が3mを超えても領域分けをせず、1領域で算定します。

ただし、日影規制がかかるかどうかを判定する建物の高さ（最高高さ10m超、軒高7m超など）は、「地盤面」からの高さとなります。

■確認申請書第六面は？

確認申請書第六面【3. 建築物の高さ等】に記載する高さは、構造ごとの高さになります。高低差のある敷地の場合は、棟ごとまたはExp. jで分離された建築物ごとに地盤面を設定し、高さを算定する必要があります。

■おわりに

地盤面、平均地盤面についてみてきましたが、いかがでしたか？ぜひ、千葉県中央図書館を訪れて、メタボリズム建築の空間の面白さを感じてみてください。

次回も「基準法であそぼ」でお会いしましょう！

～弁護士アジローがゆく～#30

「僕と契約して追加工事代金を支払ってよ！（●ω●）の巻」

網代 真治（市川・浦安）

皆さん、こんにちは。市川・浦安支部の網代（あじろ）です。普段は弁護士をしています。対話劇で建築と法律に関する記事を連載させていただいております。

今回は第30回目。アジロー（A）が仕事をサボって、アニメ作品を見ているところから始まるようです。

A「うーん。やっぱり、この魔法少女もののアニメは最高だな！登場人物の女の子達が願い事を叶えるために契約を締結して魔法少女になるんだけど、それがこんな悲劇につながるなんて…。今日は仕事をせずに全話おさらいするか…。それにしても、魔法少女達を騙す、このなんか白くて（●ω●）っていう顔をした猫のような生き物、憎たらしいな…。」



（突然、Aは背後に気配を感じ、振り向く。すると、そこにはなんか白くて（●ω●）っていう顔をした猫のような生き物がいた。）



A「わ！わア！わア！」

（●ω●）「何をそんなに怖がっているんだい？君が僕の話をしているから現れたんじゃないか。」

A「ごめんなさい！私は魔法少女になれません！」

（●ω●）「君は成人男性じゃないか…。まったく、わけがわからないよ。ところで、ここは法律事務所なんだろう？法律相談をしてもらえないかな？」

A「へ、へえ！あっしでお役に立つなら喜んで！」

（●ω●）「最近君たち人間の間でも魔法少女契約についての理解が進んでいるようでね。おかげで魔法少女契約の成約率が下がって困っているのさ。」

A「まあ、魔法少女になると魂を石に変えられてゾンビになってしまいますからね。最近の若い子には流行らないんじゃないですか。」

（●ω●）「そう、だから副業としてリフォーム業を始めたのさ。」

A「えっ、リフォーム業ですか。それは結構な事で…。」

（●ω●）「ところがね、施主が追加工事を依頼したから工事を行ったのに、これはサービス工事だから工事代金を支払わないと言うんだ。」

A「ひどいよ、あんまりだよ！こんなのってないよ！」

（●ω●）「だから、請負人が追加工事の請負代金請求をする際の要件を教えてくださいな？」

A「請負人が追加工事の請負代金を請求するための要件は、①施主と業者の当事者がいること、②行った工事が追加工事であること、③施工することにつき合意があること、④確定工事代金額の合意があること又は有償であること（お金がかかること）の合意があり、請求代金額が相当であること、の4つですね。」

（●ω●）「トラブルになりやすいのはどの要件だい？」

A「②と④が特に問題になりやすいですね。②については、行った工事が追加工事なのか、それとも元々の本工事なのか、あるいは本工事の手直し工事なのか、という形で争点になります。」

（●ω●）「④についても教えてくださいな？」

A「④については、新たに行った追加工事は無償のサービス工事だと思っていた、と施主から主張されることがありますね。」

（●ω●）「どうすれば追加工事を巡るトラブルを避けられるだろうか？」

A「面倒でしょうが、追加工事を行う場合は、施主と追加工事請負契約書を作成し、見積書にどのような追加工事を行うか明確に記載しておくべきでしょう。」

（●ω●）「魔法少女になる時と同じように、追加工事を行う前に合意内容を明確にしておくことが大切だということだね。みんな、僕と契約して追加工事代金を支払ってよ！」

マドカ！なお、弁護士アジローは創作上の人物であり、架空の魔法少女です。

Ende



古民家カフェ “ハナレプロジェクト”

「材料・実務・作り方？」

三代川 剛久（習志野）

こんにちは！三代川建築設計事務所の三代川です。
日本大学の大学院生と共に進めている

「ハナレプロジェクト」連載、第3回になります。

基本設計が進むにつれ、カフェの全体イメージも徐々に固まってきました。デザインの主軸となったのは、**店内と庭との連続性**です。

室内にいながら庭の気配を感じ、庭にいても店内の空気が伝わるような、内と外がゆるやかにつながる空間を目指しました。

その連続性を際立たせる存在として、今回デザインの起点に据えたのが「テーブル」でした。
テーブルを“依り代”にして庭との関係性を詰めていきます。

スタディ政策の日々はまさに学生たちの本領発揮でした。模型、CG、スケッチを駆使し、何週間にもわたって数多くの案が提出されます。

一つひとつの提案を実務目線で検討していく中で、ある時、学生たちと私の間に明確なギャップがあることに気づきました。

それは、**学生たちは「どう作るか」をほとんど想像していなかった**という点です。

しかし、基本設計も最終段階に近づく中、あまりに現実離れた案をそのまま採用することはできません。そこで学生たちに、“どうやって作るのか”を意識しながら、もう一度デザインを考えてみるよう促しました。

すると、これまであまり意識してこなかった素材の特性や材料強度、経年劣化、固定方法など、検証すべき項目が一気に見えてきたようです。

例えば、あるスタディ案には「厚み 20mm、高さ 0.7m、長さ 10m の流線形の脚に支えられたガラステーブル」というものがありました。スチレンボードや CG では非常に美しく、魅力的な造形です。

しかし、その造形は現実の世界に落とし込めて初めて価値を持ちます。

専門業者に依頼すれば実現可能かもしれませんが、その莫大なコストをお客様に負担してもらうことが常に最適解とは限りません。

さらに今回は、テーブル自体を学生たちと制作する計画でもあります。つまり、“自分たちで作れるデザイン”であることが重要なのです。

「厚みを 20mm から 100mm に変えたらコンクリートで作れるだろうか」「屋外でも使える素材と塗料の経年劣化は？」「3000mm のガラスを持ち上げるのは現実的か。割れない厚みは...」

理想と現実の間で悩み、素材を変え、寸法を変え、施工方法を検討していくうちに、当初思い描いていた美しいデザインは、苦しく変化していってしまいます。デザインのやり直しです。

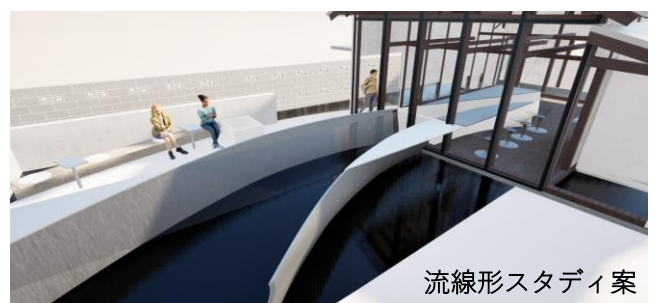
思えば、大学の講義に「材料学」という科目があったような気がします。正直、学生時代の私はほとんど興味を持てませんでした。

だからこそ、今まさに学生たちが直面している戸惑いは、とてもよく分かるのです。

今回は、苦戦を強いられたテーブルデザインの実践編としてモックアップを作成します。
シンプルな制作の予定でしたが...。
ぜひ楽しみにしててください。



模型製作



流線形スタディ案

～成田山新勝寺の白梅～

百瀬 登展 (行政 OB)

成田山新勝寺・成田山公園は梅の名所です。毎年2月から3月にかけて梅祭りが開催され多くの人が訪れます。野点、三味線や箏、二胡の観梅演奏会、氷の彫刻展などが開かれます。

写真は新勝寺境内の白梅と左の建物が光明堂。元禄14年(1701)に建立された国指定重要文化財です。今の大本堂の前の前の本堂です。江戸時代中期の貴重な建物です。奥の建物は昭和59年(1984)に建立された平和大塔です。

青空には成田国際空港を離陸したばかりの航空機。

梅祭りでは、毎年、観梅投句コンテストが行われていて、昨年は『白梅も機影も映える青い空』と投句したところ、成田国際空港賞を受賞しました。

新勝寺境内には多くの寺院建築物があり、これらの中には、江戸時代の建築で重要文化財として国の指定を受けている建物も多数あります。これらの建物も耐震診断を行い、必要に応じて耐震補強工事が実施されています。

昨年10月には、天保元年(1830)建立の国指定重要文化財である仁王門の耐震補強工事が竣工して法要が行われました。



耐震補強工事を終えた仁王門

～会員の動静～

令和7年11月2日～令和7年12月1日

会員数(1,519名)

1) 新会員

○千葉 大谷 俊之輔 千葉市花見川区
○船橋 中谷 祐介 船橋市三山

～編集後記～

新年を迎えましてお疲れ様です。

今日の私のお話は、未曾有体験です。まだ記憶に新しい台風15号・19号は、半世紀以上生きている中でも最も忘れる事の出来ない体験でした。前日は、建築士会の支部で、バーベキューの訓練をしていてもうすぐ明日になるころに、今回の台風も大した事なさそうだなと言いながら解散となりました。翌日目が覚めて雨戸を開けてビックリ、何だこりゃー山を見れば竜巻の通り道で立木は、ぐちゃぐちゃに、作業場に行けばがれきの山、町に出れば電柱のドミノ倒しと瓦敷きの道路、口頭で伝えるには無理があります。当時ニュースで見ての通りブルーシート一色になりましたが、5年過ぎた現在は空き地も増えましたが、元の姿に戻った感じがします。自分の子供の頃は、地震・雷・火事・親父で命を落としたニュースは、ほぼ無かったけど現在は親・子供・彼・彼女・熊・共に刺した刺されたのニュースばかりで災害も事件もエスカレートしています。皆様も明日は我が身で、日々大切に過ごせるように切に望む今日この頃です。

鋸南支部員